

(様式1-3)

福島県(双葉町)再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成27年4月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	個人線量計校正事業	事業番号	(3)-11-1
交付団体	双葉町		事業実施主体(直接/間接)	双葉町(直接)	
総交付対象事業費	8,002(千円)		全体事業費	31,924(千円)	
再生加速化に関する目標					
双葉町の帰還の見通しがたない現状では、町民の方は大変厳しい避難生活を強いられており、今後も長期化による健康への不安や維持、特に若年層の放射線に関する不安、さらには双葉町の除染計画が策定されてない状況から一時立ち入りによる放射線の影響が何よりも懸念されるところである。このため、町民の内部被ばく検査を継続的に実施し、放射線の健康影響に対する不安を払しょくし、避難生活を安全・安心して送れるとともに、やがて帰還促進の意向を加速化するものである。					
事業概要					
個人線量計は、福島県内及び福島県隣県に避難されている町民に貸与しているので、線量計の精度の維持を保つため点検、校正業務を行なう。					
当面の事業概要					
＜平成27年度＞ 健康福祉課対象者世帯用 1,060台 個人線量計の貸与(記録用紙同封) → (報告用紙送付)6カ月毎に積算線量報告 → 健康管理システム入力 → 線量計の校正回収 → 校正済線量計発送(記録用紙同封・報告用紙送付) → 健康管理システム入力 住民生活課対象者世帯用 200台 町民自らが放射線量を確認するため、遠方の町民等に貸与するための個人線量計の校正を行なう。 ＜平成28年度＞ 平成27年度と同様に実施予定					
地域の再生加速化との関係					
日常、生活する上で被ばくのリスクは常に意識しているものの、知らない内に体内に入っていることもあるので、検査を行なうことにより体調管理に努めていただき、今後町内立ち入り、事業の再開、防犯対策など住民がこれら取組を実施することで帰還の促進を図る。					
関連する事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式1-3)

福島県(双葉町)再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成27年4月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	3	事業名	甲状腺検査事業	事業番号	(3) - 11 - 3
交付団体	双葉町	事業実施主体(直接/間接)	直接		
総交付対象事業費	3,861(千円)	全体事業費	14,294(千円)		
再生加速化に関する目標					
双葉町の帰還の見通しがたない現状では、町民の方は大変厳しい避難生活を強いられており、今後も長期化による健康への不安や維持、特に若年層の放射線に関する不安、さらには双葉町の除染計画が策定されてない状況から一時立ち入りによる放射線の影響が何よりも懸念されるところである。このため、町民の内部被ばく検査を継続的に実施し、放射線の健康影響に対する不安を払しょくし、避難生活を安全・安心して送れるとともに、やがて帰還促進の意向を加速化するものである。					
事業概要					
甲状腺検査は、震災当時39歳以下の町民を対象に実施する。					
当面の事業概要					
＜平成27年度＞					
① 対象者を抽出し、該当者に指定医療機関名一覧を通知する。					
② 検査希望者は近隣の指定医療機関にて受検する。					
③ 検査結果について、受検者は自らは健康管理手帳に綴るとともに、町は健康管理システムにデータを保存する。					
＜平成28年度＞					
平成27年度と同様に実施予定					
地域の再生加速化との関係					
日常、生活する上で被ばくのリスクは常に意識しているものの、知らない内に体内に入っていることもあるので、検査を行なうことにより体調管理に努めていただき、今後町内立入り、事業の再開、防犯対策など住民がこれら取組を実施することで帰還の促進を図る。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式1-3)

福島県(双葉町)再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成27年4月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	4	事業名	内部被ばく検査機器等保守点検事業	事業番号	(3)-11-4
交付団体	双葉町	事業実施主体(直接/間接)	直接		
総交付対象事業費	1,395(千円)	全体事業費	5,547(千円)		
再生加速化に関する目標					
双葉町の帰還の見通しがたたない現状では、町民の方は大変厳しい避難生活を強いられており、今後も長期化による健康への不安や維持、特に若年層の放射線に関する不安、さらには双葉町の除染計画が策定されてない状況から一時立ち入りによる放射線の影響が何よりも懸念される場所である。このため、町民の内部被ばく検査を継続的に実施し、放射線の健康影響に対する不安を払しょくし、避難生活を安全・安心して送れるとともに、やがて帰還促進の意向を加速化するものである。					
事業概要					
ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は全町民を対象とし、その検査機器の精度を維持するため保守点検業務を実施する。					
当面の事業概要					
＜平成27年度＞ 機器の精度の維持管理を保つため、毎月の保守管理、年3回の定期点検、校正を行なう。 キャンベラ社製・AKP社製の2台					
＜平成28年度＞ 平成27年度と同様に実施予定					
地域の再生加速化との関係					
日常、生活する上で被ばくリスクは常に意識しているものの、知らない内に体内に入っていることもあるので、検査を行なうことにより体調管理に努めていただき、今後町内立入り、事業の再開、防犯対策など住民がこれら取組を実施することで帰還の促進を図る。					
関連する事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					